

◆近況短信

変わらずチンドン屋をやっておりますが、一番の変化は浪曲師になったことです。偶然浅草木馬亭で五代目港家小柳の浪曲を聞き、衝撃を受け、二〇一三年に入門いたしました。港家小そめという芸名で舞台に立っております。後に夫も浪曲界に曲師（浪曲三味線）として入門し、チンドン屋と同様に活動しております。

チンドン屋と浪曲師二足の草鞋になりましたが、どちらも長く続けていきたいと思っております。